

県民みんなで支える森づくり アンケート調査の結果について

1. 調査の目的

森づくりや自然環境保全についての県民のニーズや意識を把握するためのアンケートである。

2. 調査の内容

県民の森林に対する「意識」や「認識度」、また「森づくり活動に対する考え方」、さらには「森林施策の方向性」や「費用負担」についてお聞きした。

3. 調査の実施方法

山形県内に住む20歳以上の方を対象とし、次の手法で調査を実施した。

- ①県や市町村、団体が主催する各種イベントでの調査
- ②協力をいただける企業の社員、消費者団体の構成員に対しての調査
- ③実施対象別アンケート回答数

実施区分	主な実施内容	回答数
森林・林業関係イベント	各県民の森イベント、森の感謝祭などの参加者	801
その他イベント	てっぼう町青空市場、みちのく花の楽市楽座などの参加者	408
消費生活団体連絡協議会関係	県内の各消費生活団体の会員の方々	436
一般企業及び各種団体	任意に選出した県内15の企業及び団体に勤務されているの方々	437
	合計	2,082

4. 調査の実施期間

4月下旬から7月中旬まで。

5. 集計結果

別添のとおり。

アンケート回答数
2,082

県民アンケート集計表(設問別)

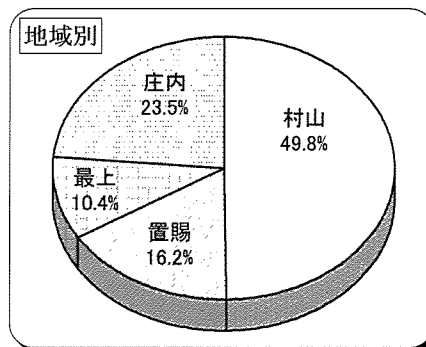
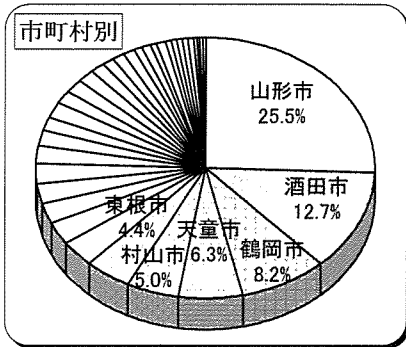
問1 あなた自身のことについて、おたずねします。

お住まいの市町村

山形市	521	25.5%
酒田市	259	12.7%
鶴岡市	167	8.2%
天童市	129	6.3%
村山市	102	5.0%
東根市	90	4.4%
米沢市	67	3.3%
長井市	58	2.8%
金山町	52	2.5%
寒河江市	52	2.5%
新庄市	51	2.5%
飯豊町	43	2.1%

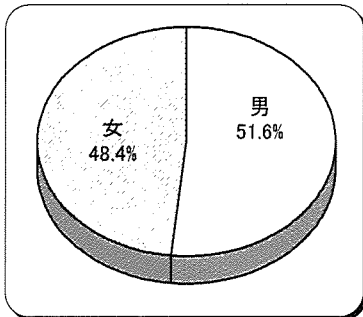
上山市	39	1.9%
鮭川村	38	1.9%
山辺町	38	1.9%
真室川町	35	1.7%
河北町	34	1.7%
川西町	31	1.5%
白鷹町	27	1.3%
遊佐町	26	1.3%
三川町	23	1.1%
南陽市	20	1.0%
高島町	18	0.9%
庄内町	16	0.8%

小国町	15	0.7%
尾花沢市	14	0.7%
舟形町	13	0.6%
大江町	13	0.6%
大蔵村	11	0.5%
最上町	10	0.5%
中山町	10	0.5%
大石田町	8	0.4%
西川町	7	0.3%
戸沢村	6	0.3%
朝日町	3	0.1%



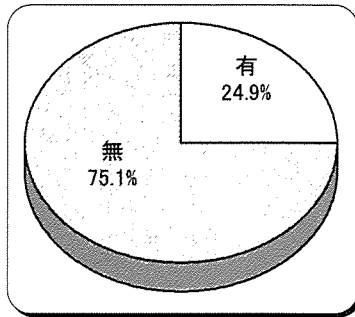
性別

男	1065	51.6%
女	998	48.4%



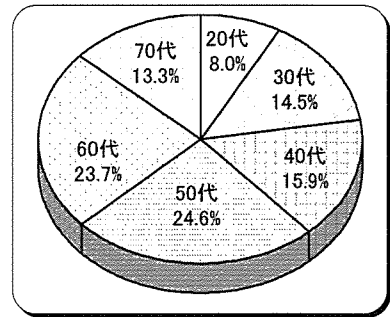
森林所有の有無

有	502	24.9%
無	1514	75.1%



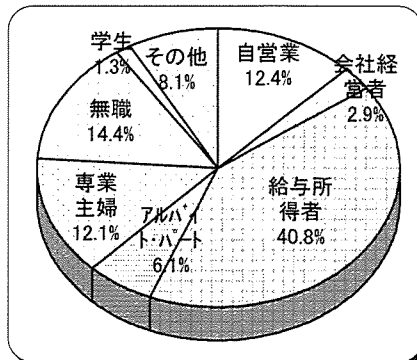
年齢別

20代	165	8.0%
30代	299	14.5%
40代	329	15.9%
50代	509	24.6%
60代	491	23.7%
70代	276	13.3%



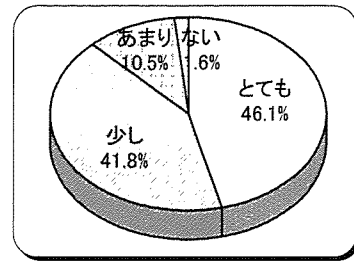
職業別

自営業	255	12.4%
会社経営者	59	2.9%
給与所得者	841	40.8%
アルバイト・パート	125	6.1%
専業主婦	289	14.0%
無職	297	14.4%
学生	27	1.3%
その他	166	8.1%



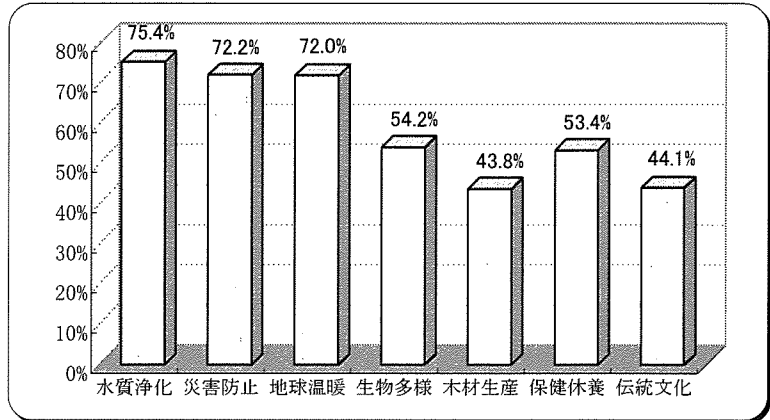
問2 山形県の森林面積は県土の72%を占めています。あなたは、森林や水などの身近な環境について関心がありますか。一つだけ選んで下さい。

とても関心がある	949	46.1%
少し関心がある	861	41.8%
あまり関心がない	217	10.5%
全く関心がない	33	1.6%



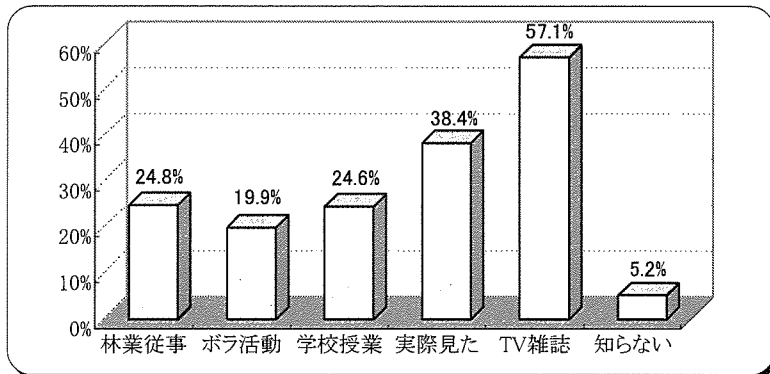
問3 あなたは森林に対してどのような働きを期待しますか。あてはまるものすべてを選んで下さい。

水を蓄えたり、水をきれいにする	1570	75.4%
土砂災害や洪水を防ぐ	1504	72.2%
CO2を吸収・固定して地球温暖化を防止	1498	72.0%
動植物の住みかとなって、生物多様性を維持	1129	54.2%
木材やきのこなどを生産	912	43.8%
自然体験など、保健休養や教育の場	1111	53.4%
山村の伝統文化を支える	919	44.1%



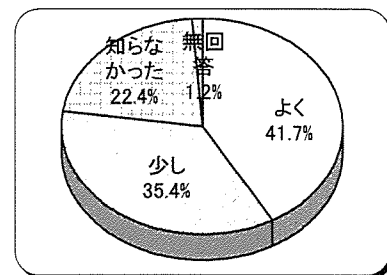
問4 森林を適正に管理するためには、植栽、下草刈り、間伐等の長年にわたる手入れが必要です。また、木を伐って跡地に再び植えるという循環的な営みを行うことで、森林の活力を維持してきました。あなたはこのようなことをご存知でしたか。あてはまるものすべてを選んで下さい。

実際に林業に従事したことがある	517	24.8%
森林ボランティア活動を体験したことがある	414	19.9%
学校の授業で聞いたことがある	513	24.6%
実際に山で間伐等の現場を見たことがある	799	38.4%
TVや雑誌等で見聞きしたことがある	1189	57.1%
知らなかった	108	5.2%



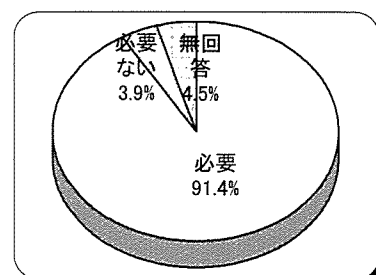
問5 やまがたの森林は、一見緑豊かに見えますが、山村の過疎化や林業の不振などにより、手入れがなされずに森林の様々な働きが低下してきていることを、ご存知でしたか。一つだけ選んで下さい。

よく知っていた	868	41.7%
少し知っていた	736	35.4%
知らなかった	452	21.7%
無回答・その他	26	1.2%



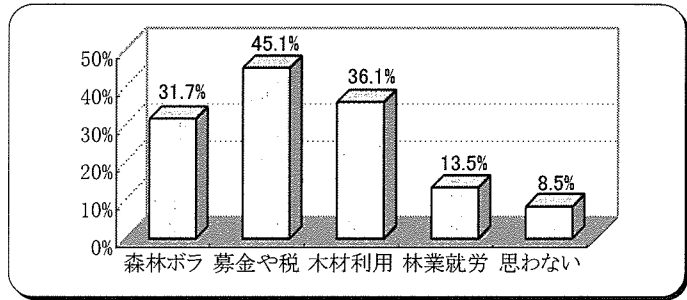
問6 県では、平成16年に「やまがた公益の森構想」を策定し、県民の理解と協力により、県民一人ひとりが森づくりを支えていく仕組みづくりを進めています。あなたは、このような取り組みを進めることが必要だと思いますか。一つだけ選んで下さい。

必要と思う	1903	91.4%
必要と思わない	86	4.1%
無回答	93	4.5%



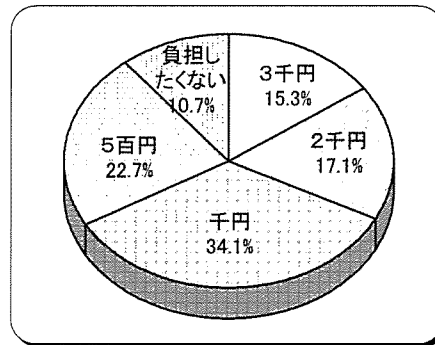
問7 あなたは、やまがたの森林を守り育てるために、どのような形で森づくりに参加したいと思いますか。あてはまるものすべてを選んで下さい。

森づくり関係のボランティア活動に参加したい	661	31.7%
緑の募金や税など、森づくりのための資金で支援したい	940	45.1%
県産木材を積極的に利用することで、森づくりに貢献したい	752	36.1%
林業への就労や、森林を所有して自ら森づくりを行いたい	282	13.5%
参加したいと思わない	177	8.5%

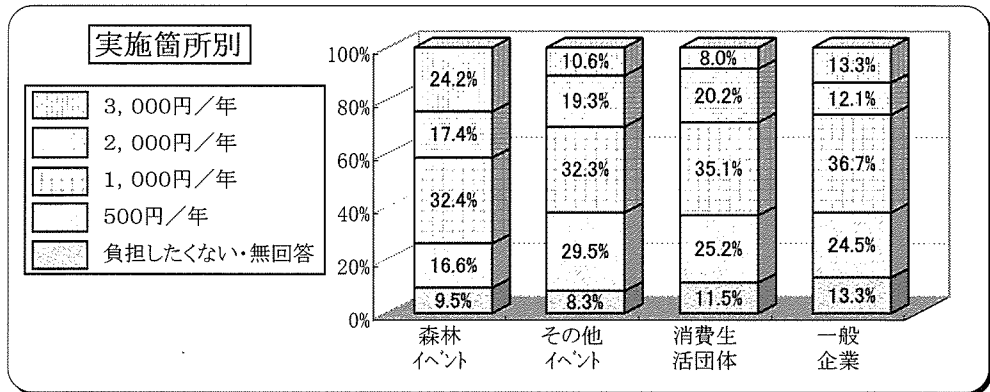


問8 県民みんなで森林を守り育てることを目的に、高知県や福島県、岩手県などこれまで16県で森林環境税が導入されています。もし、県民のみならず森林をはじめとした自然環境を守るために負担をお願いするとしたら、あなたはいくらまでなら負担してもいいとお考えですか。一つだけ選んで下さい。

3,000円/年程度	260	15.3%
2,000円/年程度	290	17.1%
1,000円/年程度	578	34.1%
500円/年程度	384	22.7%
無回答・負担したくない	182	10.7%



※問8については、途中から回答選択肢に「負担したくない」を追加したため、追加以降分のみを集計した。よって「負担したくない」を追加する以前に回収した388人分は除外した。



問9 今後、新たな負担による森づくりを進めるとしたら、あなたはどのような取り組みを行うべきだと思いますか。あてはまるものすべてを選んで下さい。

県などが公的な森林の整備を行う	1107	53.2%
森林所有者に代わり、森林組合等が森林整備を行う仕組み	993	47.7%
木の使う意義を広くPRし、木材利用を支援	778	37.4%
地域の自主的な森づくり活動の支援やその人材育成支援	798	38.3%
水や生き物を育む水源地や河川周辺の森づくりに支援	988	47.5%
希少生物を保護するための森づくりに支援	470	22.6%
自然と身近に触れ合える環境の整備	952	45.7%
普及啓発や環境教育の促進	633	30.4%

